



大好き大野

令和6年6月6日

NO. 3

文責 山口

サラ玉収穫と袋詰め

5月9日（木）にサラ玉の収穫を行いました。今年は、昨年よりも大きく、約400kgのサラ玉が収穫できました。



収穫したサラ玉はそのまま本校の教室で乾燥させ、14日（火）に、3-6年生で袋詰めをしたところです。子供たちは慣れた手つきで、3kg分のサラ玉を量り、ネットに詰めていました。形は様々ですが、おいしそうなサラ玉がたくさんとれました。



販売

収穫・乾燥・袋詰めを経て、17日（金）には、警察署と町役場へ販売に出かけました。どちらの売り場でも多くの皆様方にご購入いただき、あっという間に完売しました。ご協力いただきました皆様方、誠にありがとうございました。



体カテスト



5月21日（火）は、体カテストを実施しました。随分と気温が高くなってきましたので、水分補給など、熱中症対策にも気を遣いながらの実施でしたが、子供たちはそれぞれ元気に、一生懸命に走ったり投げたり、跳んだりしていました。

感心したのは、誰一人途中であきらめる姿がなかったことです。走るのが得意な人もそうでない人も、遠くまで投げられる人もそうでない人も、全員が最後まで一生懸命に挑戦する姿がとても素晴らしかったです。学校教育目標の「粘り強く行動する児童」に着々と近づいてきていると感じ、大変嬉しく思いました。

集団宿泊教室

5月28日（火）、29日（水）は佐敷小学校さんと一緒に5年生の集団宿泊教室をあしきた青少年の家で行いました。当日の朝は強い雨が降っており、活動ができるか心配していましたが、子供たちのパワーが雨雲をはねのけたのか、全ての活動を実施することができました。佐敷小学校の皆さん、青少年の家の方々、大変お世話になりました。



ちょっといい話

体カテストの時のことです。友だちが立ち幅跳びをする姿に、拍手を贈る一人の児童。心の中の「頑張れ」という優しい声が聞こえてくるようでした。

その児童は、友だちが跳ぶ度に、大声を出すわけでもなく、一人で静かにに拍手をしていました。相手の集中を妨げないようにという配慮からでしょうか。

日頃はあまり口数が多いとは言えないこの子の本当の姿を垣間見た気がして、心あたまるひとときでした。